

第47回中国四国大学保健管理研究集会 保健・看護分科会 アンケート結果

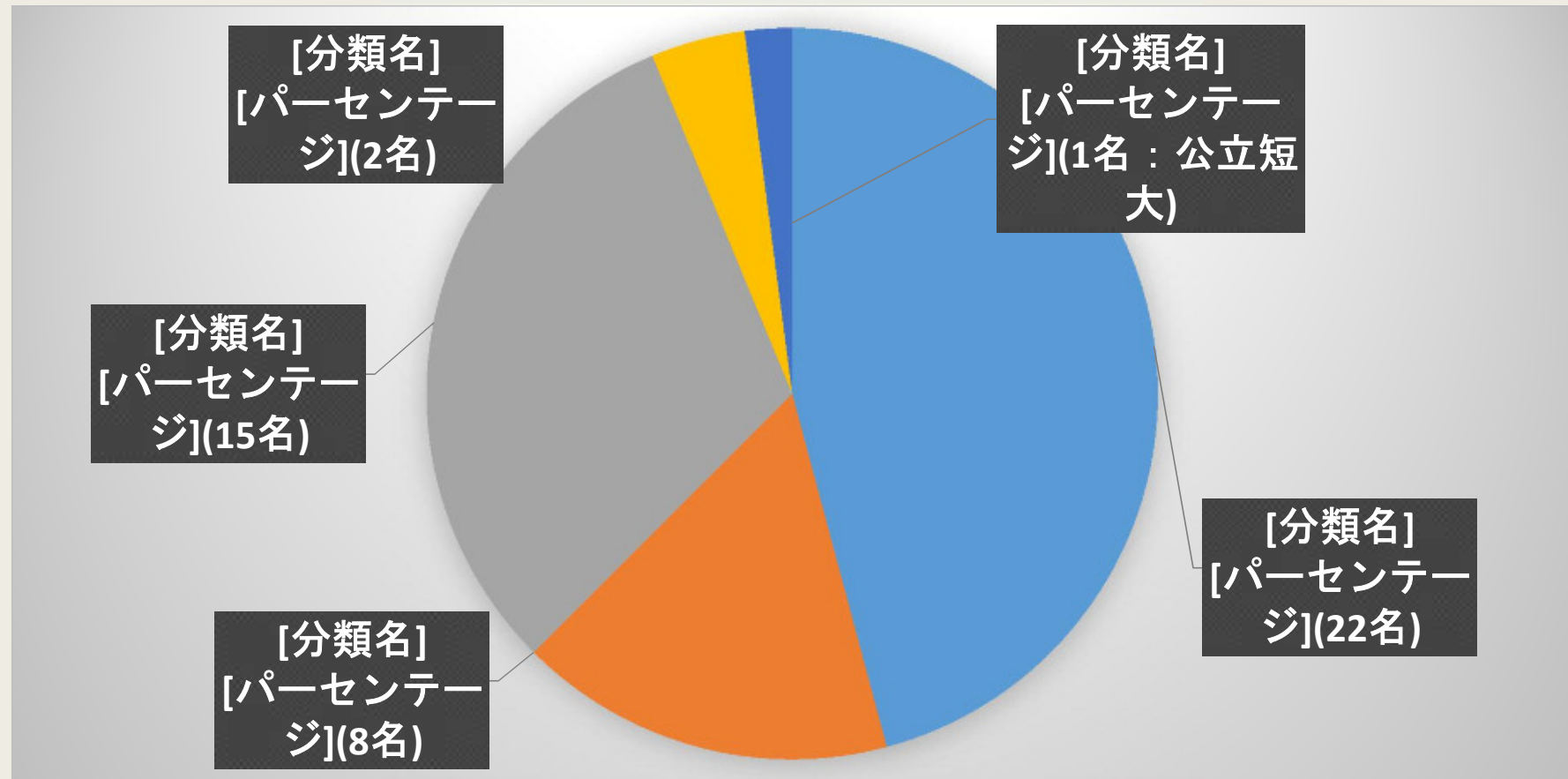
担当：鳥取大学

勉強会のアンケートは、48名から回答がありました。ご協力
ありがとうございました。

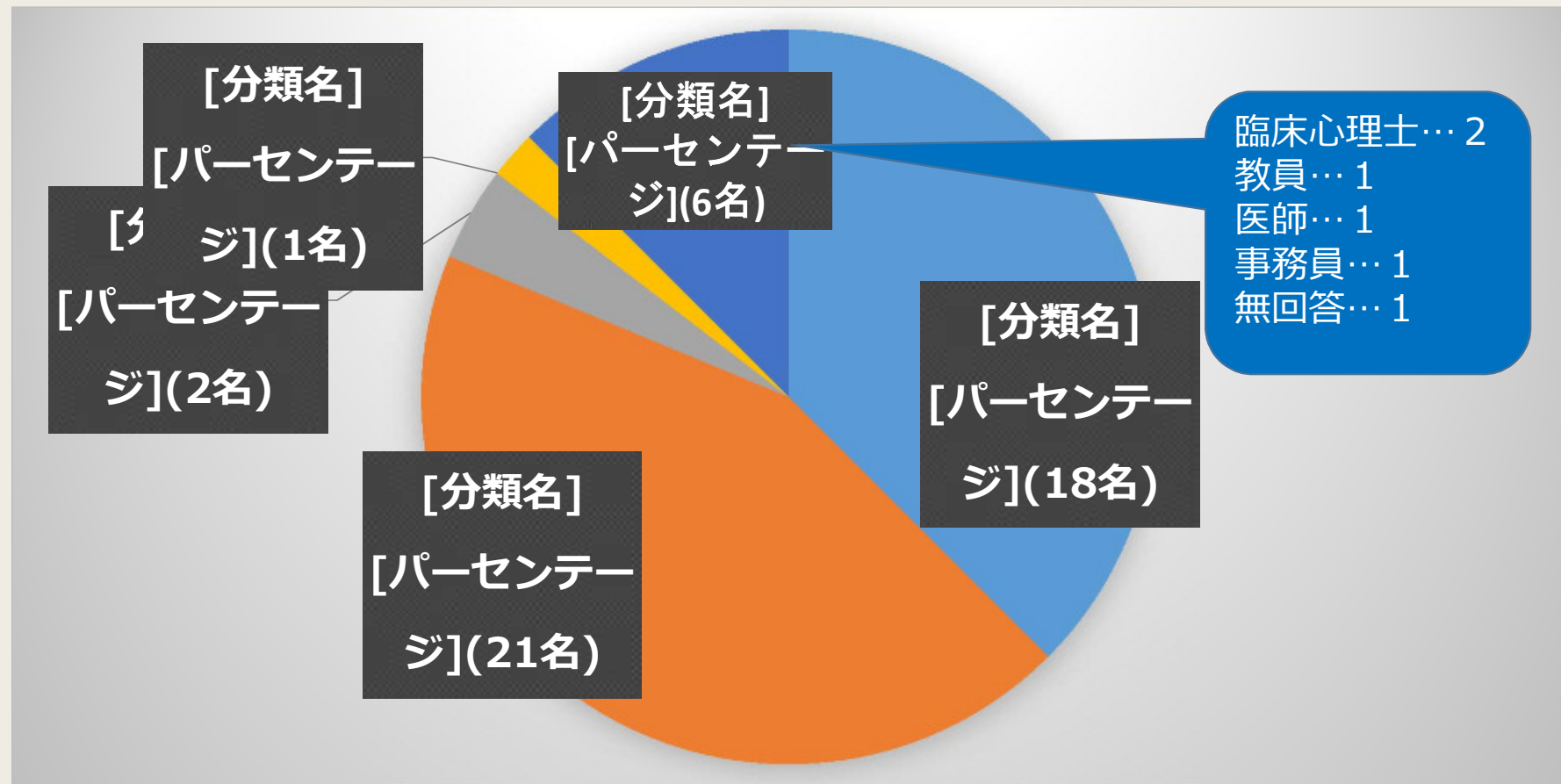
In KOUCHI 2017.08



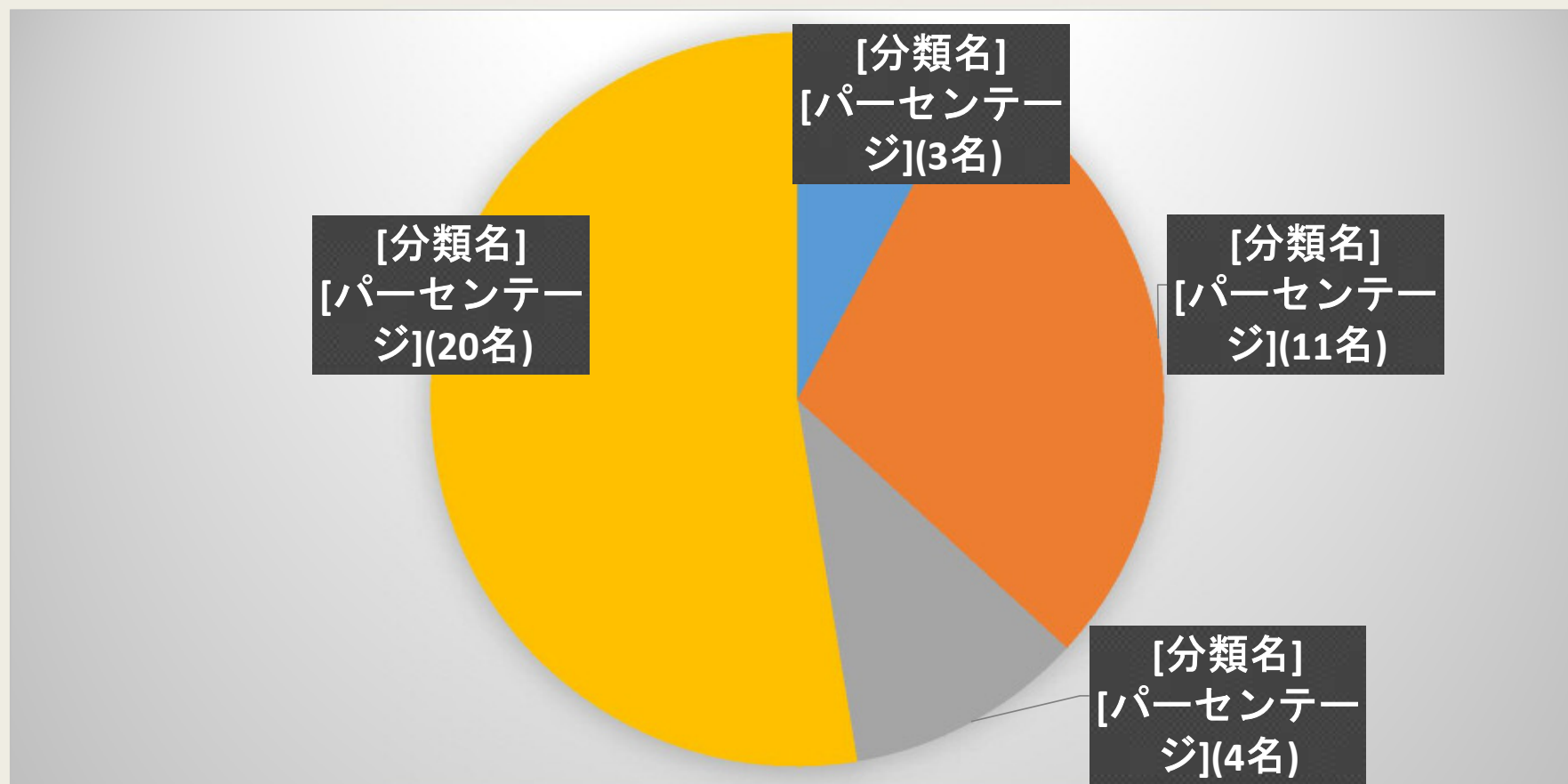
I . あなたの勤務先は？



Ⅱ. あなたの職場での職種は？

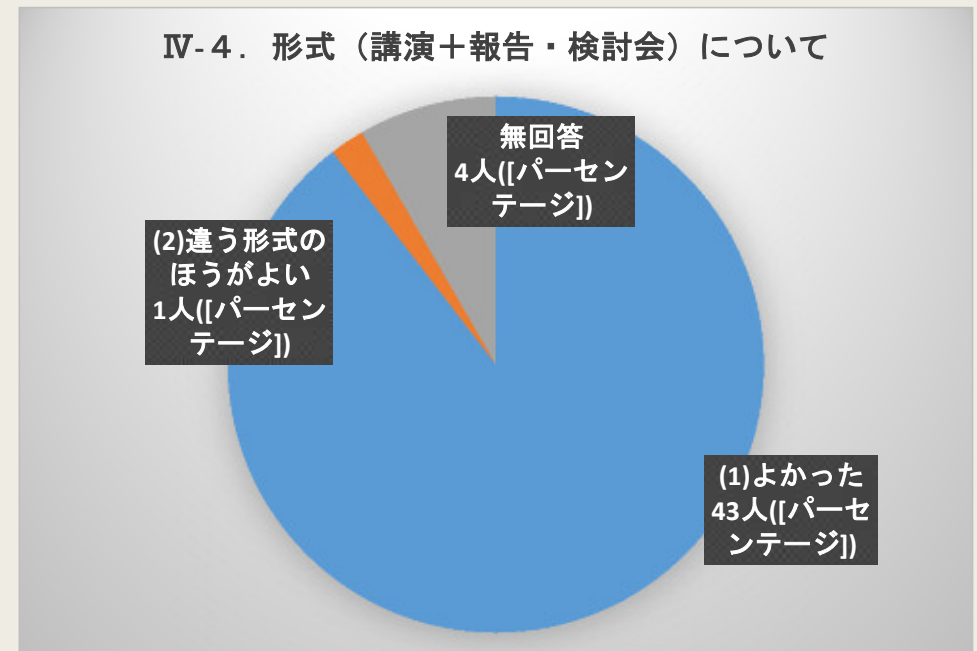


Ⅲ. 保健管理に携わった年数は？



IV. 勉強会についてお聞かせください (1)

1. 開始時間について
15時でよい...48人(100%)
2. 終了時間について
17時でよい...48人(100%)
3. 時間(2時間)について
ちょうど良い...48人(100%)
4. 形式（講演＋報告・検討会）について
 - (1) 良かった...43人(90%)
 - (2) 違う形式のほうがよい...1人(2%)
 - (3) 無回答...4人(8%)



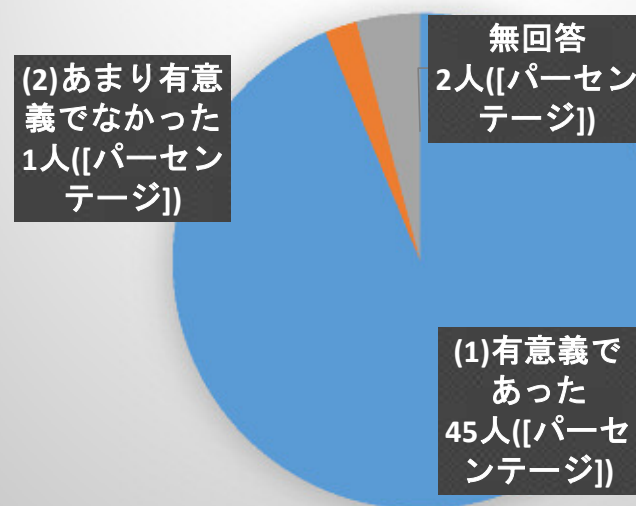
IV. 勉強会についてお聞かせください (2)

5. 講演内容について

(有意義であった理由)

- ・ 障がい学生支援の現状を知れた...12人
- ・ 具体的でわかりやすい。参考になった...5人
- ・ 日常業務にいかしたい...3人

IV-5. 講演内容について



IV. 勉強会についてお聞かせください (3)

6. 報告・検討会について

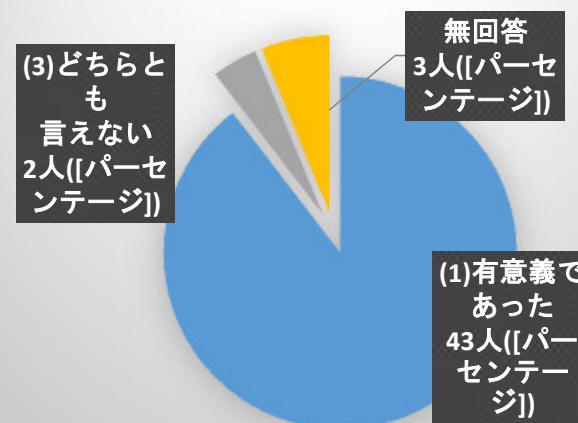
(有意義であった理由)

ほとんどの回答例が、
私大や公立大、高専などの中小規模の現状、
取り組みなどが知り得て良かった.....21人

(どちらとも言えない理由)

基本的、一般的な内容であり、もう一歩踏み込めると良い

IV-6. 報告検討会について



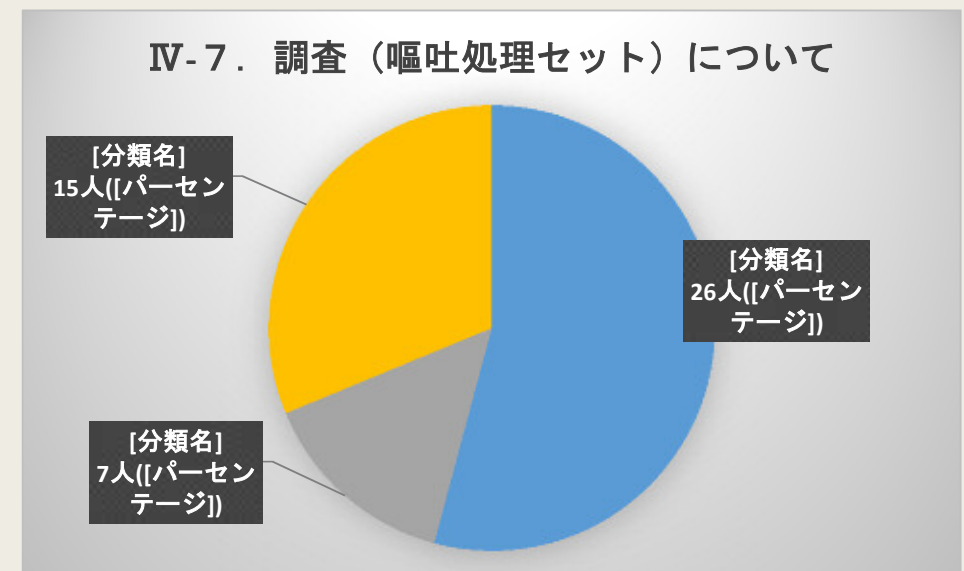
IV. 勉強会についてお聞かせください (4)

7. 調査（嘔吐処理セット）について （有意義であった理由）

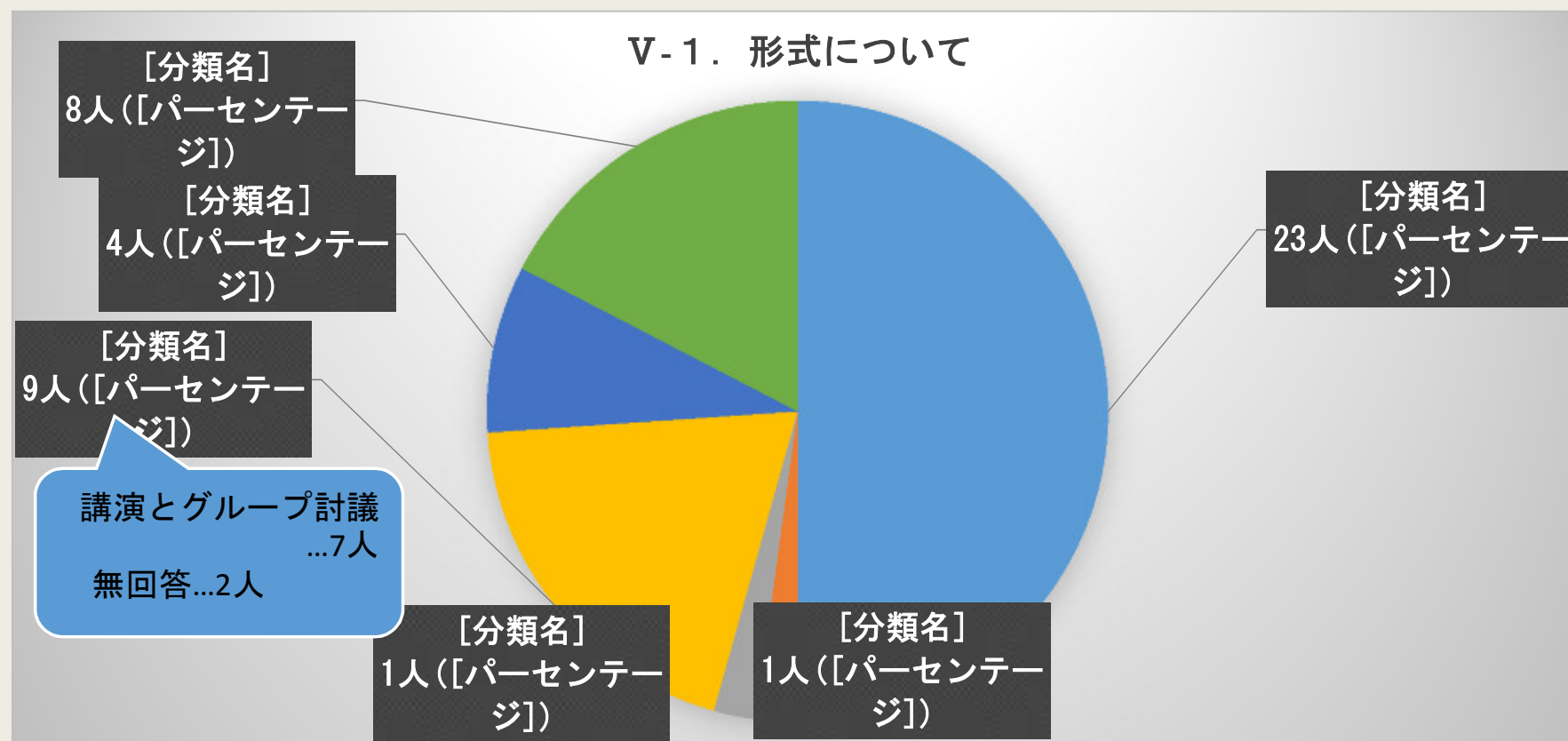
- ・ 自分の所でも参考にしたい
- ・ 嘔吐処理の製品、金額がわかって良かった
- ・ ペット用のシーツを使うなど安価で手頃な材料、方法を知れた

（どちらとも言えない理由）

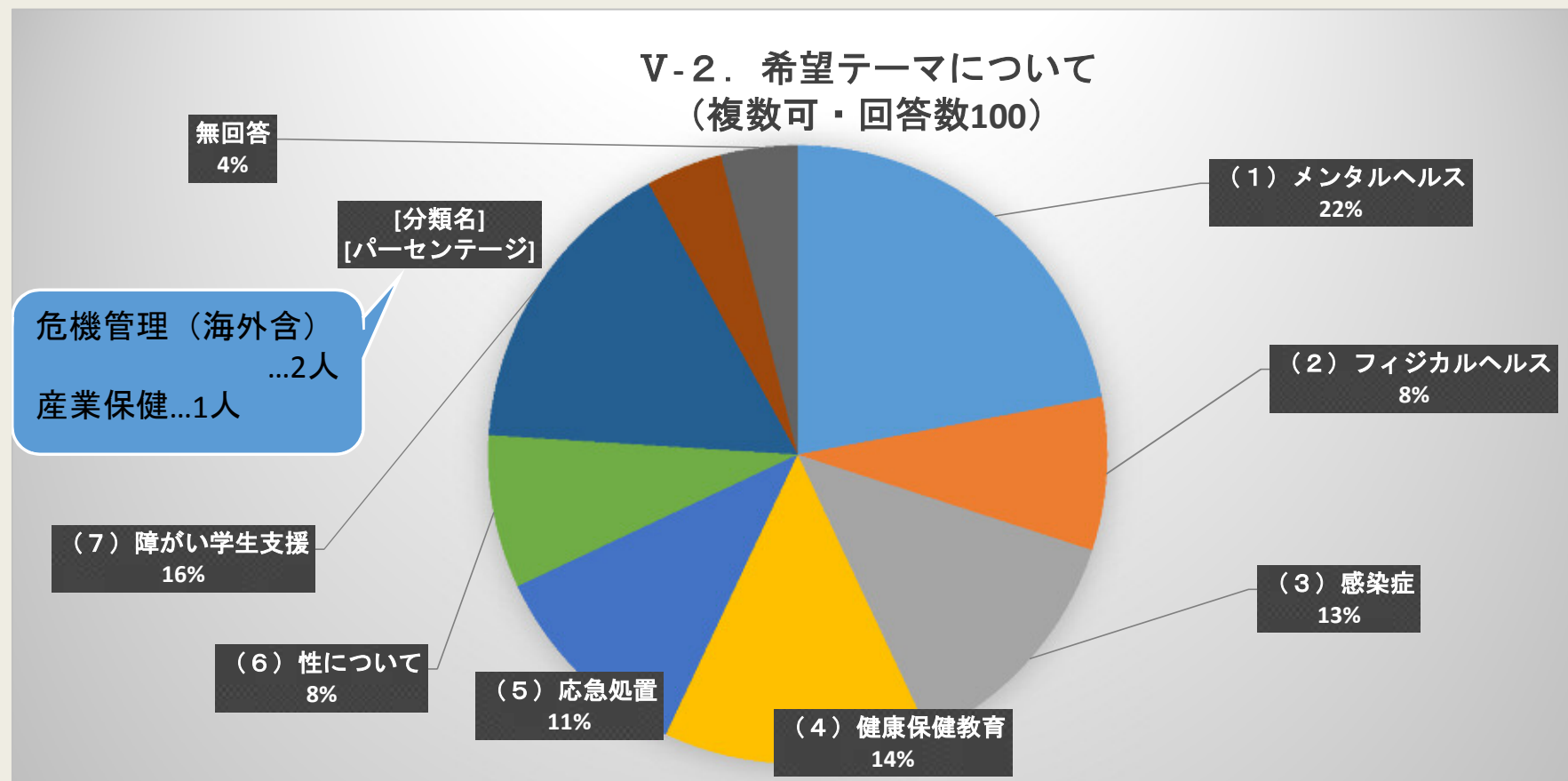
- ・ 口頭だけの報告ではなくA4－1枚にまとめてあっても良い
- ・ 各大学に1冊、またはメール等でまとめたものが欲しい



V. 平成30年度保健看護分科会勉強会 についてご希望をお聞かせください (1)



V. 平成30年度保健看護分科会勉強会 についてご希望をお聞かせください (2)



V. 平成30年度保健看護分科会勉強会 についてご希望をお聞かせください (3)

2. 希望テーマについて（内容・講師等具体的に）

- ・ 日常で多い外傷に対する適切な処置の仕方とフォローについて
- ・ 流行する感染症に罹患した学生が出たときの対応。実際の状況、内容、体制について聞きたい
- ・ 応急処置や救急車以外の搬送事例などの情報交換
- ・ 緊急時（地震・災害・感染症）の体制や準備を他大学はどうしているのか
- ・ 日常のフィジカルケア等について、実情や工夫点等についてグループワーク
- ・ 看護職が講師をしても良いかと
- ・ スポーツ外傷の処置方法、アレルギー対応
- ・ 支援者、スタッフのメンタルヘルス、リラクゼーション
- ・ ストレスチェック後のストレスマネジメントについてどうアプローチしているか
- ・ 睡眠について（リズム障害、ナルコレプシー等）

VI. 平成30年度中国・四国大学保健管理研究集会のプログラムの中で「特別講演」、「教育講演」に提案したいテーマがありますか？（複数可）

- 新人なので今後も多くのことを学びたい
- 就職状況、支援についての事例報告
- グローバルな視点から、保健管理に必要なもの
- 大学における保健スタッフの役割、位置づけ、業務内容
- 学生面談内容の守秘義務について（どこまで情報を共有するのか）
- 緊急時（地震・災害・感染症）の体制や準備
- 「教育講演」若者から中高年者まで全年齢層口コモティブ対策
- 学内での障がい者ピアサポート（ボランティア、就職支援）など具体事例
- 教職員のメンタルヘルス対策
- 食事指導（肥満）

VII. 保健・看護分科会、研究集会（本会）について ご意見やご要望・質問があればご記入ください

- いつも参考になる情報をありがとうございます
- 内容もわかりやすく、照明等もよく気をかけていただき助かりました
- いつもなかなか聞けないことを学べるので楽しみにしています
- パワーポイントと印刷の字が小さすぎる
- 年々高専の方の参加率が低下しているように思う。予算の問題もあるが、大学と高専ではベースが異なるところも多いからかも。高専とも共有できるテーマ、発表はできないにしても、情報交換できる場があると良い ...3人